

不適合情報

2016年12月16日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックをご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

- 1. GI グレード 0件
- 2. GII グレード 0件
- 3. GIII グレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	2号機	回転式取水口除塵装置(A)の点検時、変速機ケースの軸受嵌め合い部に管理値を超える摩耗を確認した。当該ケースを交換。	
2	2号機	取水口(E)水路の超音波水位差計に異常を示す警報の発生を確認した。当該計器を点検・修理。	
3	4号機	所内蒸気戻り系凝縮水移送ポンプ(B)冷却水出口弁のシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
4	4号機	電解鉄イオン供給装置海水ストレーナ切替弁のシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
5	4号機	タービン補機冷却海水系ストレーナ(A)が詰まり気味であることを確認した。当該ストレーナを点検・清掃。	
6	6号機	原子炉建屋2階(非管理区域)にある非常用ディーゼル発電機(C)非常用送風機室の壁面ひび割れ部より雨水の染み出しを確認した。拭き取り実施済み。当該部を点検・修理。	
7	その他	大湊側焼却設備において、焼却炉内スクリュウの回転速度が遅いことを示す警報の発生を確認した。当該スクリュウおよび焼却炉内を点検・修理。	